

科 目	家庭基礎	単位数	3 単位	学 年	第 1 学年	講 座	
教科書	未来へつなぐ家庭基礎 3 6 5		副教材等	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会） 調理実習ノート基礎編（ 同 左 ）			

学習目標	家庭科の学習で習得した知識・技能を家庭生活で実践できるようにする。 体験的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を育成する。 家庭や地域において、自ら考えて課題を見つけ、問題を解決する能力を身に付けさせる。
------	--

	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

時 期	学 習 計 画 及 び 内 容		評 価 方 法
1 学 期	4月	青年期の自立と家族・家庭	生涯を見通し、青年期をどのように生きるか考える。家族の役割とあり方、家族と社会のかかわりについて考える。 衣服の機能や繊維の種類、特徴について理解し、用途に応じた衣服の選択ができるようにする。 高齢者の心身の特徴や生活について知り、社会的な支援のあり方について考える。高齢社会の現状と課題について理解する。 共生社会について考える。 地域社会に参画するための方法を考える。
	5月	衣生活と健康	
	6月	高齢者の生活と福祉	
	7月	共生社会と福祉	
2 学 期	8月	食生活と健康	現代の食生活の問題点を考える。栄養素の種類と働きを理解し、食品の特徴について知る。実習を通して、調理技術を身につける。 健康や環境に配慮した食生活について課題を見つけ解決する。 子どもの心身の発達の特徴について理解する。子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。親の役割や親子をめぐる問題について考える。子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。
	9月		
	10月	子どもの生活と保育	
	11月		
12月			
3 学 期	1月	消費生活と意思決定	消費者としての自覚を持たせ、多様な販売方法や商法の被害の実態から学ぶ。家計管理の方法を知り、長期の経済生活の必要性について考える。生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるようにする。 生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、住生活の計画ができるようにする。 環境に配慮した消費行動について具体的に考え、行動することができるようにする。
	2月		
	3月	住生活と健康 ライフスタイルと環境	

学習の方法	事前に予習として教科書を読む。授業で家庭科ノートの所定の所に板書事項を記入する。重要な語句に線を引き、配布したプリントをノートに貼って整理する。 学習した内容で家庭生活に役立つことは、実際に家庭で実践する。また、家庭クラブ活動やホームプロジェクトの学習を通して、地域に役立つ活動を実践していく。
-------	--

備考	
----	--